



「つたえるねっと」
で農作業情報を
随時配信中!

橋本資材センター

.....TEL.0736-33-2300

かつらぎ資材センター

.....TEL.0736-22-7822

7月の農作業

※表内の網掛け()の農薬を購入する場合や、毒劇物農薬を購入する場合
は必ず印鑑を持参してください。印鑑のない方には販売することができません。

落葉果樹

夏果実の適期採果に努めましょう

7月に入ると、モモなどの夏果実の収穫最盛期に、カキは仕上げ摘果に入ります。梅雨明け後に晴天が続く場合は、自園の樹の状態を見ながら今月の栽培管理を参考にかん水を行ってください。また、雑草が繁茂している場合は除草を行いましょう。

カキの栽培管理

◎摘果

先月に引き続き、香品生産のため摘果を徹底しましょう。早く行うほど効果が高いため、7月中旬にひと通り作業を終らせてください。富有柿については、生理落果終了後に摘果を行ってください。

い。極早生柿・刀根早生・平核無柿では葉が約20枚に1果、富有柿では約25枚に1果が目安です。

◎夏期剪定

樹冠内部の新梢が過繁茂になると通風・採光が悪くなり、小玉果、着色不良果、病害虫等が発生しやすくなります。そのため、日当たりを悪くしている徒長枝や下垂枝は剪除します。ただし、過度の夏期剪定は主枝の日焼けや樹勢の低下、果実の肥大不良を招くため注意してください。

◎かん水

梅雨明け後に気温が上昇し晴天が続くと、土壌の乾燥が進み光合成や果実肥大が抑制されます。特に幼木や根の浅い園では注意してください。葉が巻くなどの症状が見られる前に、10a当たり20〜30mmのかん水を1週間間隔で行ってください。なお、10a当たりに10mmのかん水を行う場合は約10tの水が必要です。

◎除草

7月は気温が高く、降雨もあるため、雑草の成長が旺盛になる時期です。除草を行わないと肥料の浪費だけでなく、ミカンキイロアザミウマの繁殖源となりますので、7月下旬までに除草を完了しましょう。

◎カキノヘタムシガ防除

カキノヘタムシガは孵化後、芽を食害しながらヘタや果梗へ侵入し、被害果は落果します。果実に侵入すると薬剤がかりにくく防除が困難になるので、ご注意ください。

◎カメムシ類防除

カメムシ類は6月から7月頃に果実を吸汁し、被害を受けた幼果は生理落果を起こします。自園地の発生状況を確認し防除に努めてください。

モモの栽培管理

◎除袋

晩生種の除袋時期となります。除袋が早すぎると、色の牙えが悪くなるので、収穫までの日数がかかり、小じびや裂果発生の原因となります。逆に遅すぎると、着色が不十分なうちに収穫期を迎えてしまいます。果実を確認しながら、適期に除袋を行ってください。

を迎えてしまいます。果実を確認しながら、適期に除袋を行ってください。

◎着色管理

着色向上を目的として、果実の先端部が少し着色し始めた頃に、反射マルチを敷設します。除袋を行う園地では除袋後2〜3日経過してから行います。敷設する時期が早すぎると着色が先行し、未熟果を収穫してしまう恐れがあるので注意してください。

◎収穫

未熟果を収穫すると、小玉で糖度が低く酸味が強いのに加え、渋みが残ります。逆に遅れると糖度は高くなりますが、日持ちが悪くなります。収穫適期は、果実の地色が赤道部付近まで白っぽく抜けたころです。また、収穫が近づくと果実の重みが増し、枝が下垂します。果実の着色不良や枝折れの防止のため、枝つりや支柱立てを行ってください。

スモモの収穫

大石早生の収穫がほぼ終了し、中生品種の収穫が始まります。品種によって収穫適期や熟度の進み方が違うため、品種の特性を理解することが大切です。

◎サンタローザ

大石早生と違い、収穫後は追熟しない品種です。さらに果肉が硬いうちに着色が始まり、着色初期では酸味が強く糖度が低いという特徴があります。果実全体が着色した、青みのない果実を収穫してください。

◎ソルダム

サンタローザ同様に追熟しない品種で、果面に果粉を有するので着色の判定が困難です。果面全体に着色すると果肉内が完全に赤みを帯びてきますので、全体に赤みを帯びた果実を収穫してください。

◎太陽

他の品種に比べ日持ちが良いのが特徴です。地色が抜け暗赤色の完全着色とし、果肉に弾力のある

●柿の目標数量と着果基準(10a当り)

	目標数量	個数	7/20時点の肥大(目安)
極早生柿	2,000kg	11,000〜13,000個	M以上 5.0cm
刀根早生・平核無柿	3,000kg	13,000〜15,000個	L以上 5.6cm
富有柿	2,500kg	8,000 ~ 9,600個	2L以上 5.7cm

●モモの収穫の目安

品種	日川白鳳	白鳳	清水白桃	川中島白桃
満開後日数	約85日	約100日	約110日	約120日
時期	6月中下旬	6月下旬〜7月上旬	7月中下旬〜7月下旬	7月下旬〜8月上旬

●肥培管理作業

品 目	(10a当り)	
富有柿 生理落果終了後(7月上旬)	FTE入 S022号 又は柿粒状配合	40kg 60kg
スモモ 収穫後(7月〜8月)	果樹有機化成 又はアツマップ化成 280	80kg 60kg

病害虫防除

カキではフジコナカイガラムシ、モモやスモモではシンクイムシ類、カイガラムシ類の発生時期となります。薬剤のかりにくい部分にもしっかりと薬剤を散布を行ってください。

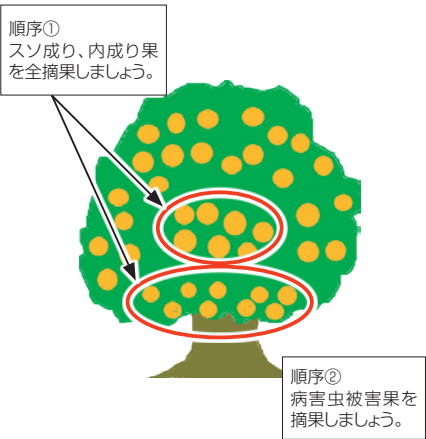
モモ・スモモ・ウメについては、先月に引き続き今月もクビアカツヤカミキリの一斉防除が控えています。防除暦を確認して対策に努めましょう。また、園内を観察し大量のフラスやうどん状のフラスが発生していないか確認しましょう。



ている果実を収穫してください。着色にムラがある場合は、全体に着色してから収穫しましょう。

品目	防除時期	適用病害虫	防除法	使用時期 (収穫前)	使用回数
カキ	7月上旬 (平核無)	落葉病・炭そ病 カイガラムシ類・アザミウマ類	エムタイファ水和剤 600倍 モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍	45日前迄 前日迄	2回以内 3回以内
	7月上旬 (富有柿)	※収穫前日数を厳守する(45日前迄) 例) 極早生種9月1日収穫の場合は7月18日迄 ※カメムシ発生園ではモスピラン顆粒水溶剤にかえてキラップフロアブル2,000倍 (7日前迄/2回以内)を散布する。※高温時の散布は避ける。			
	7月下旬～ 8月上旬 (平核無)	炭そ病・うどんこ病・落葉病 カキノハダシガ・カメムシ類・アザミウマ類	スコア顆粒水和剤 3,000倍 キックオフ顆粒水和剤 2,000倍	前日迄 前日迄	3回以内 3回以内
	7月下旬～ 8月上旬 (富有柿)	うどんこ病・炭そ病・落葉病 カメムシ類・アザミウマ類	スコア顆粒水和剤 3,000倍 ダントツ水溶剤 2,000倍	前日迄 7日前迄	3回以内 3回以内
モモ	収穫前 (6月下旬～ 7月中旬)	ホモブシ腐敗病・灰星病 シンクイムシ類	ベルコート水和剤 2,000倍 ロディー乳剤 1,000倍	前日迄 前日迄	3回以内 5回以内
		※収穫前防除を徹底する。			
	全品種 一斉防除 (7月上旬)	クビアカツヤカミキリ	モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍	前日迄	3回以内
		※単用散布とし、樹幹部まで丁寧に散布する。 収穫が終了した園地ではモスピラン顆粒水溶剤にかえてダントツ水溶剤2,000倍(7日前迄/3回以内)でもよい。			

品目	防除時期	適用病害虫	防除法	使用時期 (収穫前)	使用回数
ウメ	全品種 一斉防除 (7月上旬)	クビアカツヤカミキリ	ダントツ水溶剤 2,000倍	前日迄	3回以内
		※単用散布とし、樹幹部まで丁寧に散布する。ダントツ水溶剤にかえてモスピラン顆粒水溶剤2,000倍(前日迄/3回以内)でもよい。			
スモモ	中生晩生	灰星病 カメムシ類・シンクイムシ類	スコア顆粒水和剤 2,000倍 アグロスリン水和剤 1,000倍	前日迄 前日迄	2回以内 2回以内
		※収穫前防除を徹底する。			
	全品種 一斉防除 (7月上旬)	クビアカツヤカミキリ	モスピラン顆粒水溶剤 2,000倍	前日迄	3回以内
晩生	全品種 一斉防除 (7月上旬)	※単用散布とし、樹幹部まで丁寧に散布する。 収穫が終了した園地ではモスピラン顆粒水溶剤にかえてダントツ水溶剤2,000倍(3日前迄/3回以内)でもよい。			
	収穫前 (7月中下旬)	灰星病 カメムシ類	ロブラール水和剤 1,000倍 スタークル顆粒水溶剤 2,000倍	前日迄 前日迄	3回以内 3回以内
	全品種 収穫後 (7月～9月)	ケムシ類	オリオン水和剤40 1,000倍	7日前迄	3回以内



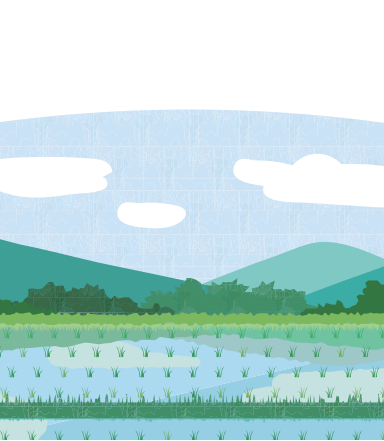
①品質を均一にするため、摘果の順序は内成り果及びス成り果を全摘果しましょう。
②外側は病害虫被害果を摘果しましょう。

【摘果する果実】
着果量の少ない樹では、粗摘果は行わず8月中下旬以降の仕上げ摘果や樹上選別で調整しましょう。また、かぶさり枝がある場合は除去し、日差しが内部まで当たる状況にして生理落果の軽減と果実品質向上を図りましょう。

●着果量が多い樹
着果量の多い樹では、生理落果が終了する7月上中旬ごろから粗摘果を開始し、果実肥大促進と翌年の結果母枝を確保しましょう。ス成り果や内成り果、傷果、病害虫被害果など品質の劣る果実を中心に摘果しましょう。

●着果量が少ない樹
着果量の少ない樹では、粗摘果は行わず8月中下旬以降の仕上げ摘果や樹上選別で調整しましょう。また、かぶさり枝がある場合は除去し、日差しが内部まで当たる状況にして生理落果の軽減と果実品質向上を図りましょう。

温州みかんの粗摘果を行いましょう
7月は温州みかんの粗摘果時期となります。早期に着果量を制限することで、果実肥大の促進や隔年結果を防止することができまます。着果量の多い樹や極早生温州みかんから摘果を始めましょう。



●みかん・中晩柑のかん水目安

種類	時期	状態	かん水量(1回につき)
みかん	7月上旬まで	1週間以上降雨がない状態	10 ⁵ g(10 ⁵ g/10a)
	7月中旬～8月中旬	夕方に葉が巻いている状態	5 ⁵ g(5 ⁵ g/10a)
	8月下旬～9月中旬	明け方に葉が巻いている状態	20 ⁵ g(20 ⁵ g/10a)
中晩柑	6月～9月	1週間以上降雨がない状態	20～30 ⁵ g(20～30t/10a)

●みかん・中晩柑病害虫防除

防除時期	適用病害虫	防除法	使用時期 (収穫前)	使用回数
7月上旬	黒点病 ゴマダカミキリ チャノキイロ アザミウマ	ペンコゼブ水和剤 600倍 アクセルキングフロアブル 2,000倍	みかん 30日前迄 カンキツ 90日前迄	4回以内
			7日前迄	2回以内
※アクセルキングフロアブルは魚毒性が強いので、残液の処理に注意する。 ※ハダニ多発園では、ダニコングフロアブル4,000倍(前日迄/1回以内)を加用する。				

●かん水
7月は果実肥大期のため、適度な土壌水分が必要となります。梅雨明け後に干ばつ状態が続くと、夏枝の伸長や細根の発達を抑制され、果実肥大に悪影響を与えるため、下記の表を参考にかん水を行いましょう。

●雑草防除

使用時期・水状態	薬剤	散布薬量 (10a当り)	使用時期 (収穫前)	使用回数	
田植え後 15日～ 湛水散布	クログワイの 多い水田	サンパンチ1キロ粒剤	1 kg	ノビエ35期前迄 (60日前迄)	1回
※散布に当たっては、3～4日間は湛水状態(水深3～5cm)を保ち、散布後7日間は落水、かけ流しはしない。					
田植え後 15～55日 浅水散布	ホタルイの 多い水田	●バサグラン粒剤	3～4kg	60日前迄	1回
※水を落として足跡に水が溜まる状態で散布する。散布後3～4日は入水しない。処理後2日以内の降雨は効果が減るので確認して散布する。					
田植え後 25～40日 落水散布	キシュウスズメノ ヒエ・ホタルイの 多い水田	●クリンチャーパス ME液剤	薬量 1,000ml 希釈水量70～100ℓ 希釈倍数70～100倍	ノビエ5期前迄 (50日前迄)	2回 以内
※高温時(日中)の散布は葉害の発生に注意する。展着剤は加用しない。散布後3～4日は入水しない。					
※●のついているバサグラン粒剤、クリンチャーパスME液剤は同じ成分「ペンタゾン」が含まれているため総使用回数が2回以内と定められています。					

●豆つぶ防除体系

防除時期	適用病害虫	防除法	散布薬量 (10a当り)	使用時期 (収穫前)	使用回数
出穂前 7月下旬	いもち病 紋枯病 ウンカ類 カメムシ類	ワイドパンチ豆つぶ	250g	35日前迄	1回

※湛水状態で散布し4～5日間は湛水状態を保ち、7日間は落水やかけ流しをしない。
※吸湿性のため濡れた手での作業や降雨時の散布はしない。

●穂肥散布

穂肥(10a当り)		
省力タイプ	穂肥なし	
低コストタイプ	穂肥なし	
一般タイプ	出穂25日前 太閤 20kg	出穂10～15日前 20kg

※穂肥1回の場合は出穂25日前に太閤30kgを施用する。

田植え後の管理

水
稲

紀北地域の最新ニュース!



NEWS&TOPICS



4/12 SAT

4/13 SUN

ご当地キャラ
EXPO inりんくう

「ご当地キャラEXPO inりんくう」が、大阪・関西万博の開幕に合わせて、泉佐野市のあさひ賃貸りんくうステージ・りんくうアイスパークで開催され、JAわかやま紀北地域本部PR隊リーダーの「かきたん」が参加しました。

全国各地から100を超えるご当地キャラクターが集結し、2日間で約60,000人が来場。「かきたん」のブースでは、あんぽ柿やかきたんグッズなどを販売し、多くの来場客で賑わいました。



4/9 WED

女性会
春の日帰りバス旅行

JAわかやま女性会紀北地域本部では、滋賀県の琵琶湖周辺を巡る春の日帰りバス旅行を企画し、女性会会員32人が参加しました。近江八幡水郷めぐりでは、見頃を迎えた水辺の桜を眺めながら遊覧を楽しみ、「まるたけ近江西川」で近江牛のランチを食べ、「ラコリーナ近江八幡」や「かねふくめんたいパークびわ湖」で買い物を楽しみました。

参加した会員は「お花見日曜で食事も美味しく、帰りのバスでのビンゴ大会も楽しかった」と話しました。

4/22 TUE

農業振興支援制度
説明会

令和7年度「農業振興支援制度」の説明会を開き、約50人が参加しました。新JAの農業振興方策のひとつとして創設し、担い手の確保・農業所得の向上を図るため、新規就農拡大支援や省力化・スマート農業推進対策、重要病虫害対策などの助成を行います。「紀北地域本部独自対策」についても説明し、参加された皆さんからは制度の条件など積極的に質問がありました。



4/24 THU

女性会 第1回通常総代会

JAわかやま女性会紀北地域本部第1回通常総代会を開催しました。総代57人(議決権行使書含む)が出席し、女性会規約や令和7年度活動計画・収支予算案などの全4議案が可決承認されました。その後リーダー研修として、過去の女性会活動を振り返るとともに、今後の活動について春木副本部長から説明がありました。昨年度、JA紀北かわかみ女性会の役員を務めた会員に花束が手渡され、新役員の選任が行われました。



5/9
FRI

山椒目揃え会

山椒の目揃え会を職員向けに地域本部別館で行い、荷受規格などの出荷基準の統一を図りました。その後、生産者向けの目揃え会を各選果場で行いました。

紀北地域管内で生産されている主な品種は、大粒で辛みの強い「ブドウ山椒」と、小粒でトゲのない「朝倉山椒」。今年は平均気温が低かった時期もあり、昨年よりやや遅い生育ですが、順調な仕上がりのです。出荷は5月12日から5月末頃まで続き、約1,800kgを見込んでいます。

5/9
FRI

ブドウ花穂整形講習会

ブドウの花穂整形講習会を管内の各園地で開き、営農指導員が有核と無核(種なし)、それぞれの花穂整形と摘芯の処理方法について実演しながら説明しました。

花穂整形は、果粒の数を制限し、房を適正な大きさに調整する作業で、摘芯は、伸びている新梢の先端を切除することで、一時的に新梢内の養分が花穂に流れ、果粒肥大を促す作業です。

処理時期は5月中旬から6月上旬まで。これらの作業を徹底することで、結実不良を減らし、商品性の高い房型のブドウに仕上げるすることができます。

5/15
THU

女性大学開講式

第12期女性大学「Happiness」開講式を開き、13人が入講しました。女性大学は、女性会フレッシュミズが中心となって運営し、地域の仲間づくりや生活の充実を目指す場として、一年間を通して講義や実習を行います。

第1回目の講座では、河内長野市の料理教室「HappySmileクッキング」の畑たみこ先生を講師に招き、デコ巻き寿司作りに挑戦しました。畑先生の明るい笑顔に、参加した皆さんも自然と笑顔になり、四角い巻き寿司が完成すると歓声があがりました。

出来上がった巻き寿司は記念に写真を撮って、お持ち帰りいただきました。



JAわかやま広報誌『紀のわ』

紀北地域
独自企画

「FU-WA」

「地域でがんばる!きらり人」

びと

大募集!

JAわかやま広報誌『紀のわ』紀北地域独自企画として、「FU-WA」・「がんばる!きらり人」にご登場いただける方を募集中です!

JA紀北かわかみ広報誌『とらいあんぐる』から続く、お子さんご紹介企画「FU-WA」に加えて、新企画「がんばる!きらり人」がスタートします。たくさんの素敵な笑顔をお待ちしております。

FU-WA



紀北地域にお住まいのお子さんをご紹介する企画です。普段のお子さんの様子などお話をお伺いさせていただき、写真撮影を行います。兄弟姉妹・ご両親と一緒に撮影大歓迎です!

- ☐ 応募要項：橋本市・伊都郡在住の小学生以下のお子さん
- ☐ 応募方法：お子さんの「氏名・年齢」、応募者の「氏名・住所・連絡先」を明記のうえ、メールまたは郵送でご応募ください。

がんばる!きらり人



地域で活躍されている方、輝いている方をご紹介する新企画です。

農家・非農家・自推・他推問いません。「こんなこと好きやねん!がんばってるねん!」そんな思いをぜひお聞かせください!

- ☐ 応募要項：橋本市・伊都郡在住の方
- ☐ 応募方法：応募者の「氏名・年齢・住所・連絡先・好きなことや頑張っていること等」を明記のうえ、メールまたは郵送でご応募ください。

【お問合せ先】

JAわかやま 紀北地域本部 総務部総務生活課

☎0736-42-3000

メールアドレス：mail-400@ja-wakayama.or.jp

〒649-7203 和歌山県橋本市高野口町名古屋922-2



夏期

土壌分析実施のお知らせ



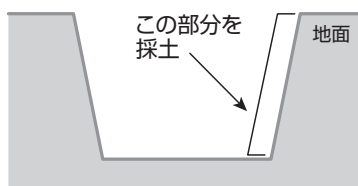
毎年実施しております土壌分析につきまして、試薬の供給不足により、地域本部での土壌分析ができなくなりました。今後は、分析センターに委託し、分析費用として**1検体当たり550円の費用**が掛かることとなります。組合員の皆様方にはご迷惑をお掛けしますが、ご了承いただきますようお願い申し上げます。

申込締切

7月4日
(金)

「採土方法」

- ①採土場所は、地表面を除き30cmのところまでの土を採土してください。
- ②1園地で3～5カ所採土し、よく混ぜてください。
- ③採土は日陰で十分乾燥させ、紙袋等に200ccコップ1杯程度の土を入れてください。
※紙袋に「氏名・住所」を記入してください。
- ④各資材センター備え付けの申込書に必要事項を記入し、**各資材センター、または営農指導員**にご提出ください。



- ・1園地で3～5カ所採土
- ・混ぜて乾燥させる



法律相談会

7月18日(金)
場所：紀北地域本部3階
時間：午後1時30分～5時まで

JAでは弁護士による無料法律相談を組合員及びご家族の方を対象に毎月開催しています。相談時間は30分以内で、秘密は厳守いたしますので、安心してお申し込みください。なお、定員となり次第締め切らせていただきます。

- ☐ お問合せ先／紀北地域本部総務生活課
☎0736-42-5172
- ☐ 組合への加入は最寄りの支店へご相談ください。

ローン相談会

7月6日(日)・13日(日)・
7月20日(日)・27日(日)
☐ **場所／橋本支店 1階**
☐ **時間／午前9時～午後4時まで**

地域の方の住宅ローンなど各種ローンのご相談やお申込み受付を行っております。完全予約制となっておりますので、ローンセンターまでお気軽にお問合せください。

- ☐ お問合せ先／ローンセンター
☎0736-33-2922


 正しい知識
で後悔しない
年金生活!

年金セミナー&個別相談会開催のお知らせ

日時 令和7年7月12日(土)

午後1時～2時45分(セミナー)

午後3時～5時(個別相談会)

**場所 JAわかやま紀北地域本部
4階大ホール**

(橋本市高野口町名古屋922-2)

**参加費
無料!!**

 講師 社会保険労務士 **木村 顕夫 氏**

■個別相談はセミナー終了後行います
(先着5名／事前予約が必要です)

ご予約・お問い合わせは
最寄りの支店または金融共済部(☎0736-42-5323)まで